

## 新座キャンパス 8 号館 AV 設備

2011 年の春に 8 号館の新棟が完成し、新しい教室も増えて授業環境が更に整備された。以下は、AV システムの設計方針や、教室の紹介又はシステムの具体的な内容説明である。

### ◇システムの方針を明確にする

新棟建設の連絡を受け、2010 年 2 月頃より AV の検討を開始した。先ず設計事務所との打ち合わせの中で、教室規模の内容を確認し、それぞれの内容に応じたシステム構築からスタートした。そしてシステムの青図が見えてくると、次に関係部署とのヒアリングや過去のシステム等を参考にして、8 号館システムとして以下の方針を決定した。

#### 1. 操作性の共通化

操作卓やワゴン内の操作パネルは従来の操作方法と共通化を図り、どの教室でも同じ操作を可能とし、利用者の操作ミス防止に努める。

#### 2. 使用する機器の統一化

システム内の機器は質の改善を図るとともに、又可能な限り従来教室と同系統機種でまとめ、操作性やメンテナンス性を高める工夫をする。

(参考) 演習室系・・・ 什器配置により、プラズマワゴン又は小型プロジェクター  
中・大教室・・・ 中型メイン・サブプロジェクター

#### 3. 教室中継システム (メディアセンターシステム)

遠隔授業や教室合同利用等に備え、メディアセンターよりコンテンツの配信を可能とする。

#### 4. 遠隔監視システム (メディアセンターシステム)

各教室機器の使用状況監視や、緊急コール時の遠隔操作支援をメディアセンターより行えるものとする。

### ◇各教室システムの一例を示す

(注 1) 常設ノート PC・ブルーレイ・DVD/VHS・OHC は各共通装備

(注 2) N821～823・N831～ 836 は PC 教室仕様

#### 1. 小型天吊プロジェクター・120” 電動スクリーン・AV ワゴンを使用する教室

N422～424    N432～434    N824    N842    N848～849    N853～854

#### 2. 中型天吊プロジェクター・AV ラック・操作卓 (注 3) N851・N8B1 は HD カメラ (教師学生側設置) 設置教室

N851 (120” 2 面・プラズマ 2 面)    N852(120” 3 面)    N8B1 (200” ・180” 2 面)  
食堂こかげ(100” 1 面)

#### 3. プラズマワゴン (注 4) OHC 設置なし教室

N841    N843～847

◇メディアセンターシステムについて以下に詳細を示す

1. 中継・ダビングシステム

AV ラック 3 台に設置された機器類は主に中継機能を受け持つ内容の機器であり、メディアセンター経由で指定教室にコンテンツが送れ、合同授業などに役立つ。更に N8B1 教室や N852 教室などは HD カメラが装備され、テレビ会議を利用した遠隔授業などの環境が用意されている。又これらテレビ会議は従来利用教室内に毎回機材を持ち込み、それぞれセットを行っていたが、今後はメディアセンターでの定位置運用が可能となり、設置作業等の負担もかなり軽減されると思われる。メディアセンターシステムでは上記機能の他にダビングシステムも装備しており、先生方からのメディアダビングや地デジ放送録画依頼などは速やかな対応が可能となる。

2. 遠隔監視システム

AV ラック内の PC や、事務所内 PC より最近の主な教室システムの稼働状況が一目で確認出来るアブリオンネットシステムが設置されている。これは各教室のシステムとサーバー室内のアブリオンサーバーを LAN 回線で結び、事務所内常用 PC 等で内容が簡単に確認出来るものである。又必要に応じて教室機器を遠隔操作が出来、特定の教室では操作卓内の操作パネル映像を見ながら先生方への遠隔操作支援も可能となる。

アブリオンネットシステムではこれら遠隔監視機能に加え、更にタイマー機能やログ出力機能も備えており、特にタイマー機能は省エネ時代の折、システム電源の切り忘れ等に対して有効に作用していると思われる。この様に AV システム利用はこれからも授業の中で大きなウエイトを占めると思われるが、それに伴いシステムの管理機能強化も重要なポイントであると考えている。

◇参考 1

N852 教室についての紹介

8 号館 5 階に完成した N852 教室は新座では従来にない変わり型の教室である。机が扇形に並んでおり、更に教壇までもが半円形の作りとなっている。床も少し傾斜があり、初めての利用時各先生方は従来の新座イメージからかけ離れているので、その変化に多少驚かされたのではないかと思われる。ここでは 120 型のスクリーンが 3 面あり、又 HD カメラもステージと生徒側の合計 2 台が設置され、100 人弱の遠隔授業には最適となり、今後の活用が期待される。

◇参考 2

(1) 学内や他校とのテレビ会議を利用した遠隔授業を行う

従来設備では、設備の関係上新座キャンパスから相手側に映像・音声を発信する事がなく、相手側からの内容を受信するのみであったが、今回は以下の様に

2 教室のどちらかを使用して相互通信が簡単に行えるようになった。

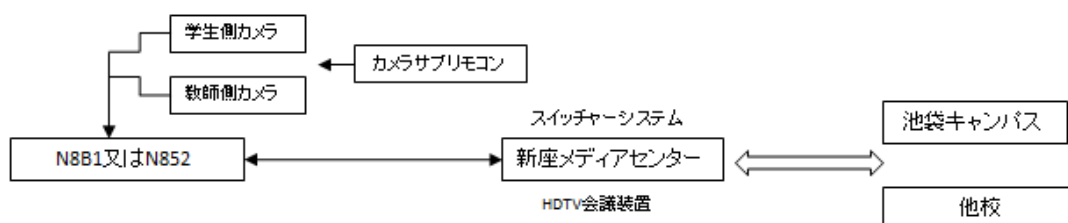


図 1：新座テレビ会議システム

(注 1) N8B1(445 人) N852(110 人)

(注 2) 池袋キャンパスでは、教室内にカメラが設置されている部屋が対象となる

(2) イベントや特別講義等で隣接教室等を併用したい場合、以下の様にメディアセンター経由にて配信を行う事が可能。

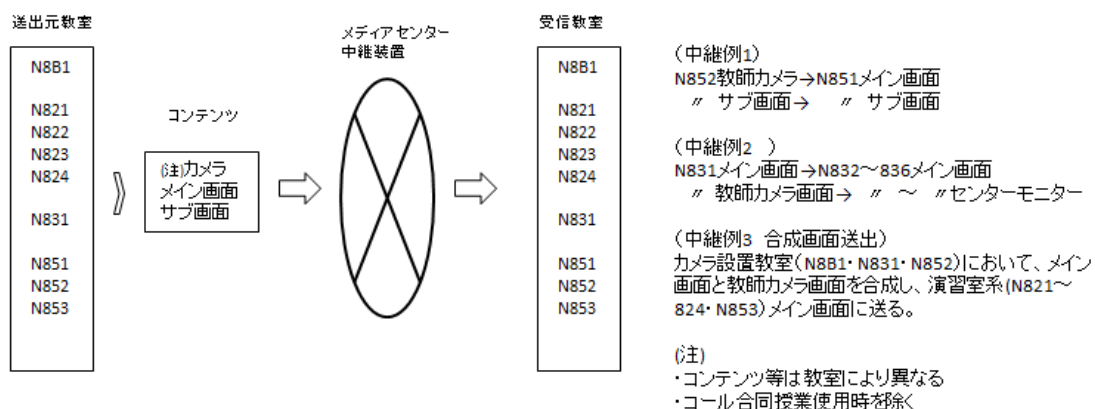


図 2：新座メディアセンターAV 中継システム

(注 3) カメラ設置教室 N8B1・N852

(3) 収録設備

上記カメラ設置教室でのイベントや授業の内容をメディアセンター内レコーダーに HD 録画が可能。(演習室系の音声録音も可能)